



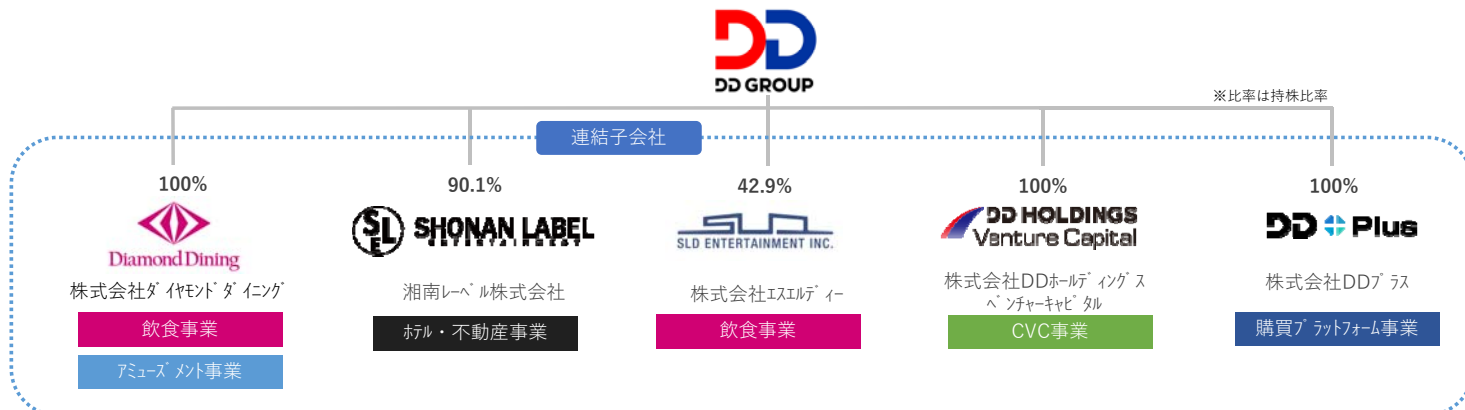
***Dynamic*** & ***Dramatic***

## 2024年2月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社DDグループ  
2023年7月14日



● 経営理念	お客様歓喜
● グループ経営指針	圧倒的な「カッコよさ」という価値観で すべてのステークホルダーに対して「熱狂的な歓喜」を呼び起こす！ 「OPEN~ひらく~」「Community~つなぐ~」「Revolution~みがく~」「Innovation~のびる~」
● グループビジョン	創造的であり革新的であるブランドを創出する ~ブランドカンパニー~
● 行動指針	Dynamic & Dramatic ~大胆かつ劇的に行動する~
● 中期経営計画テーマ	原点超越



※CVC事業及び購買プラットフォーム事業はセグメント区分上「飲食・アミューズメント」事業に含んでおりま

**1 第1四半期連結累計期間の各段階利益が過去最高益で着地**

→営業利益1,104百万円、経常利益1,083百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,010百万円

**2 2024年2月期の連結業績予想（第2四半期累計及び通期）を上方修正**

→第1四半期連結累計期間の業績を受け、第2四半期累計及び通期ともに業績予想を上方修正

**3 新連結中期経営計画の公表に加え、商号を(株)DDグループへ変更**

→ビジョンを「ブランドカンパニー」とし、商号を(株)DDホールディングスから(株)DDグループへ

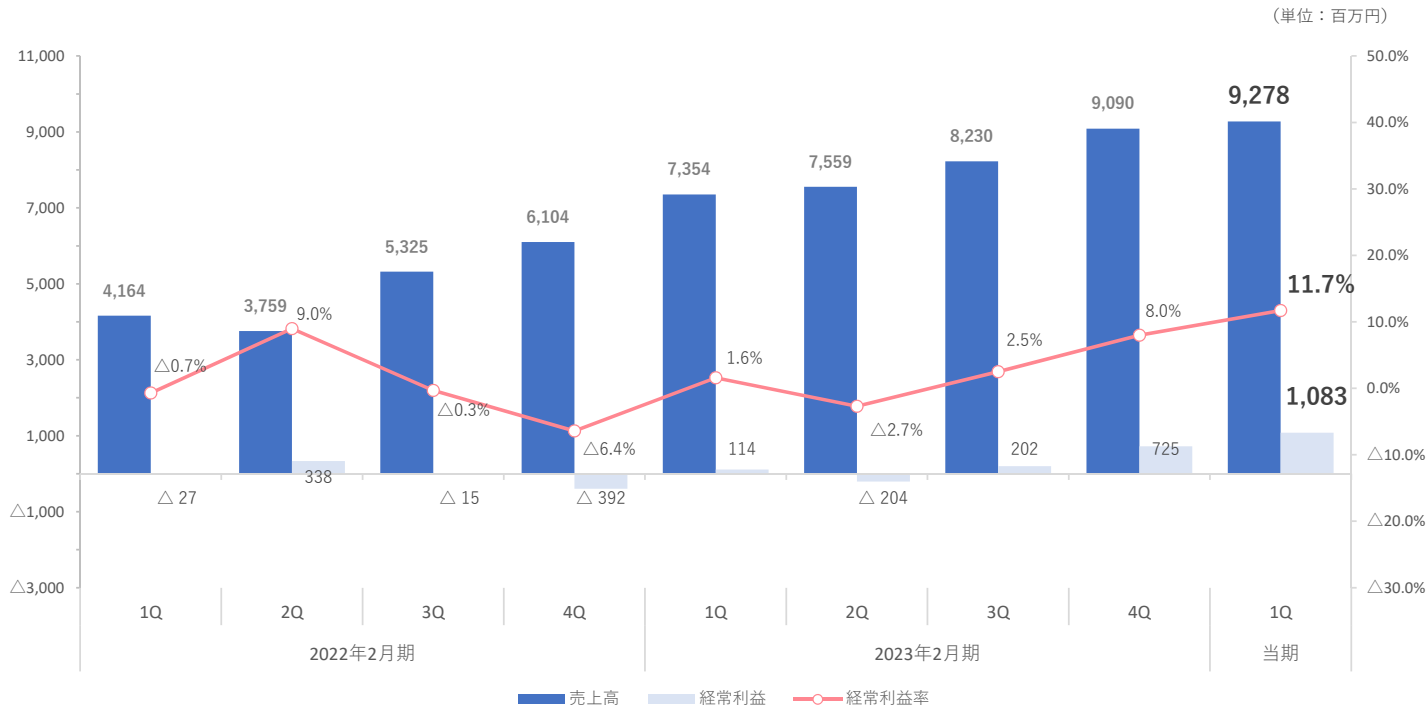
新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、人流が穏やかに回復したことで売上高は堅調に推移

売上高  
【1Q累計】  
**92.7**  
億円

対前年同期比  
126.2%

経常利益  
【1Q累計】  
**10.8**  
億円

対前期増減額  
9.6億円



## 第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期以降の業績を上方修正

2023年4月14日に公表した業績予想に対し、今後の社会情勢等を鑑み2024年2月期第1四半期連結累計期間までの実績のみを反映し、第2四半期連結会計期間以降の計画は据え置きとしております。

(単位：百万円)

		前回予想① 2023年4月14日公表	今回予想② 2023年7月14日公表	増減額	増減率	前期実績 (ご参考)
連結 第2四半期 (累計)	売上高	16,964	17,733	769	4.5%	14,914
	営業利益	665	1,390	725	109.0%	△505
	経常利益	680	1,379	699	102.8%	△89
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	560	1,269	709	126.6%	373
連結通期 (累計)	売上高	34,092	34,861	769	2.3%	32,235
	営業利益	1,524	2,250	726	47.6%	467
	経常利益	1,495	2,194	699	46.8%	838
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,126	1,835	709	63.0%	875

- ・グループビジョンへの取組みと共にESG課題の取組みを通じ、社会的価値・経済的価値の向上と両立を図る

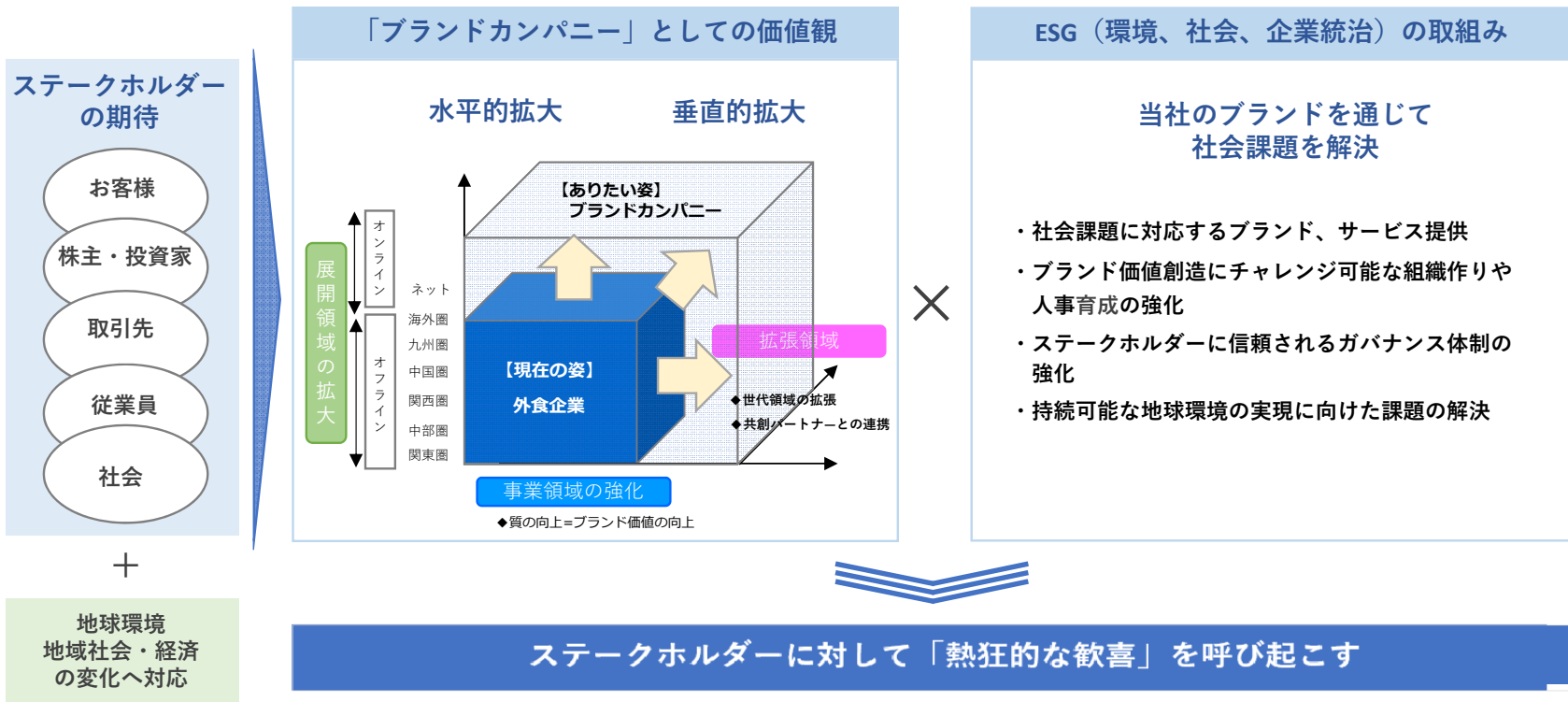
(単位：百万円)

		2023年2月期 (実績)	2026年2月期 (計画)	増減額/増減率
財務目標 (経済的価値)	売上高	32,235	40,000	7,764
	営業利益	467	2,800	2,332
	経常利益	838	2,700	1,861
	ROE	17.4%	20%	2.6point
非財務目標 (社会的価値)	女性管理職比率	24.2%	現状水準維持	—
	気候変動対応	・ CO2排出削減	【検討課題 2024年2月期まで】 ・ CO2排出削減方針の策定	—

- ・「グループ経営力」の強化に向けた具体的なテーマと重点施策項目は以下のとおり
- ・「LTVの最大化」のため「ブランド（業態）」「チャンネル（エリア）」「ライフスタイル（ステージ）」等の拡充

1 コア事業の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● グループ連携による出店場所の確保</li><li>● グループ経営力を活かしたブランドの創出強化</li><li>● LTV（LIFE TIME VALUE）の最大化</li><li>● ブランドポートフォリオの強化によるドミナント出店</li></ul>
2 展開チャンネルの拡張	<ul style="list-style-type: none"><li>● SC（Shopping Center）、フードコートなどの新たな販売チャンネル開拓を行い展開エリアの拡充を実現</li><li>● 地域創生を目的とした各自治体との連携強化</li><li>● 新たなチャンネルに応じたブランド開発</li><li>● EC事業による新たなチャンネル開拓</li></ul>
3 事業領域の拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>● M&amp;Aを活用した新規事業領域の拡張</li><li>● ホテル、不動産セグメントの販売商品の拡充</li><li>● グループ連携によるIPコンテンツ事業の強化</li></ul>
4 財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● ROE 20%以上、有利子負債依存度50%まで低減</li><li>● 営業利益 2.8 億円以上（2026年2月期）</li></ul>

- ・LTV（LIFE TIME VALUE）の最大化による「ブランドカンパニー」としての価値創出とともに、社会課題の解決に向けたESGの取組みを推進することで、企業価値を高め、「熱狂的な歓喜」を呼び起こす





コーポレートトピックス：新連結中期経営計画の公表に加え、商号を(株)DDグループへ変更

- ・創造的であり革新的であるブランド価値を軸に幾何学的な倍数でL T Vの最大化を目指す



LTVの最大化

「株式会社DDホールディングス」から「株式会社DDグループ」へ



各事業の経営管理を主体とした持株会社体制から、  
各事業で保有する経営資源の相互活用、  
イノベーション創発の支援を強化する持株会社体制へ

「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」へ

取締役会における重要な業務執行の決定を取締役に委任

- ⇒意思決定の迅速化
- ⇒取締役会の軸足をグループ経営の監督に移行
- ⇒取締役会の監督機能の強化

## 新中期経営計画の達成に向け、コア事業の業績回復と並行し新規事業の準備を順次開始

展開領域の拡大

### 展開チャンネルの拡充

#### 事業の目的

- ・ 事業領域の拡大・新たな顧客の獲得

#### 展開チャンネルの創出

- ・ 地域創生を目的として各自治体との連携
- ・ ホテル・不動産事業における成長戦略を検討
- ・ 仕入プラットフォームの拡充

### 開発力を起点とする“ブランド価値”の提案を強化

### コア事業

#### 事業の目的

- ・ 飲食・アミューズメント事業、ホテル・不動産事業を軸とした圧倒的なブランドの確立

#### コア事業の収益回復

- ・ 業態及び店舗開発における高付加価値観の再定義
- ・ IP事業モデルの推進

### 各ブランドの原点超越の徹底

### 拡張領域

### 成長課題に対する取組み

#### 拡張の目的

- ・ 幾何学的な倍数でのLTVの最大化

#### 顧客接点の最大化

- ・ 共創パートナーとのアライアンス
- ・ ターゲット顧客層の拡張コンテンツの創出

### 共創パートナーとのLTVの最大化

### 新たな事業価値の拡充

#### 事業の目的

- ・ 既存の経営資源を活用した新規事業創出

#### 新サービスの開発

- ・ オーガニックでの開発、M&A等を含めた新規事業の早期実現
- ・ コンテナ、シェアハウスの新たな商材開発

### 次なる収益源の事業化に向けた取組み

## 事業領域の強化

コア事業

IPコンテンツの運営をグループ会社の垣根を超えて実施  
(株)ダイヤモンドダイニングと(株)エスエルディーの連携強化

飲食



## 期間限定のIPコンテンツとのコラボレーションカフェを実施



### 大人気キャラ「ちいかわ」との期間限定コラボ

各地で大好評の「ちいかわ飯店」のドリンクメニューと肉まんをご提供する「ちいかわ飯店ドリンクスタンド」会場として、株式会社パルコのエンタテインメント事業部企画開発によるコラボレーションカフェを、同社が運営する商業施設への出店店舗や近隣の店舗にて実施。

コア事業

ダイヤモンドダイニングの原点である“熱狂”を真っ直ぐに表現  
韓国料理の新業態へリニューアルオープン！

飲食



## 「韓国大衆酒場 ラッキーソウル 西新宿」を2023年4月20日オープン



韓国大衆酒場  
**ラッキー★ソウル**  
럭키서울

“SOUL” (魂) × “食都・ソウル” (韓国の首都)

看板メニュー「チュクミサムギョプサル」(“チュクミ”とは韓国語で「イダコ」のこと。)の他、多彩な料理とお酒をお値打ち価格でご提供する“美味しいラッキースポット”として、韓国への小旅行気分も味わえる使い勝手の良い酒場です。

< 韓国大衆酒場 ラッキーソウル 西新宿 (東京都新宿区西新宿) >  
※ 「MEAT&WINE WINEHALL GLAMOUR NEXT 新宿」からの業態変更

コア事業

出店チャンネルの拡充により新たな顧客層へのアプローチ  
業態初の商業施設フードコート内にオープン！

飲食



## 「ふわとろオムライス EGG BOMB イオンモール浦和美園店」を 2023年4月29日オープン



ふわとろオムライス



“私だけのオムライス”

最大の特徴である「カスタムできる」という点に磨きをかけ、ソースアレンジのバリエーションを増やしアップデートした上、フードコートの特性を鑑み、ファーストフード的な使い方もしていただけるよう、トッピングメニューのフライドチキンをホットスナックとして販売するなど、新たな試みにもチャレンジしています。

<ふわとろオムライス EGG BOMB イオンモール浦和美園店（埼玉県さいたま市）>



コア事業

ビリヤード・ダーツ・カラオケ業態とインターネットカフェ業態ポイント共通化  
ブランド間相互送客を強化しLTVの最大化を図る

アミューズメント



## 「BAGUS」公式アプリリニューアル



イベント情報やお得なキャンペーンも、もう逃さない。

**BAGUS OFFICIAL APP**

ダウンロードはこちら



バグース



初回限定  
ダウンロード特典  
割引クーポン  
プレゼント



「遊ぶ・集う・寛ぐ」を網羅した『BAGUS公式アプリ』

「アミューズメント」or「インターネットカフェ」情報が選べるブランド選択機能を搭載し、会員登録をすることでどちらの業態でも使用することのできる共通ポイントを貯めることができます。BAGUSブランドの最新情報配信や、MAP検索による近隣店舗探しやクーポン配信によりお得に店舗をご利用いただけます。

新たな事業価値の創出

ホテル・不動産



## 企業コラボで広がる認知度 / 顧客ダム獲得への施策

### 8HOTEL <ホテル>

FREAK'S STORE × 8HOTEL コラボ商品限定発売



アパレルブランド「FREAK'S STORE」(株式会社デイトナ・インターナショナル)とのコラボ商品発売に伴い8HOTEL CHIGASAKIにてローンチパーティーを開催。メディア露出の結果、**新規取材獲得5社・新規コラボ案件3社の獲得に繋がった**。また新卒活動でも同取組みをきっかけとした応募者があった。

### SHARE HOUSE <シェアハウス>

湘南シェアハウス部の本格再開

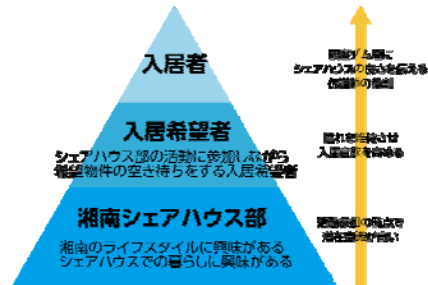
	対前年同期比	対2022年2月期比
<b>入居率</b> (10累計)	<b>102.4%</b>	<b>124.1%</b>



「若い世代の支援」×「湘南エリアの活性化」  
コロナ禍にて一時中止していたシェアハウスに関連づけたいイベントを行う「湘南シェアハウス部」を再開。



<ビーチクリーンの様子：参加者40名>



<入居待ち顧客ダムの形成>





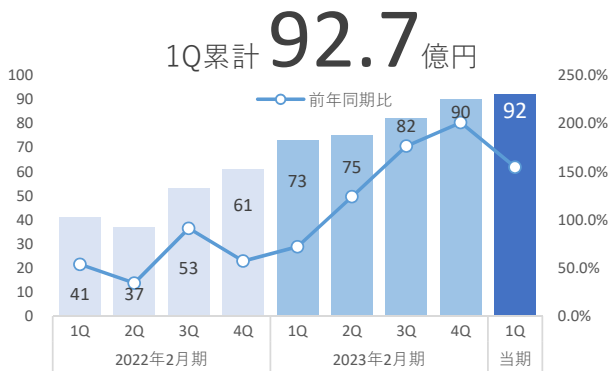
2024年2月期 第1四半期 連結業績

# 連結決算（累計）

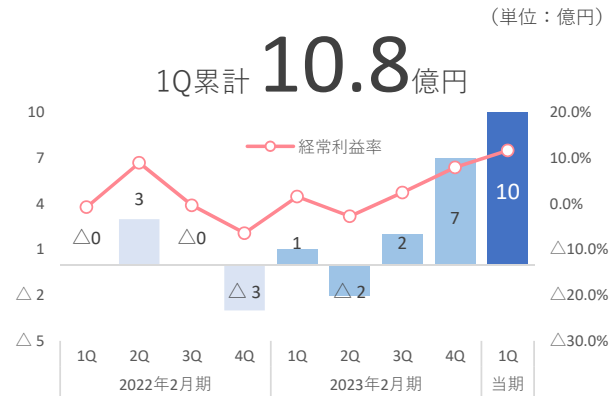
（単位：百万円）

		2024年2月期1Q	2023年2月期1Q /対前期増減額	
連結業績	売上高	9,278	7,354 1,923	<b>増加</b> 売上高 ▶対前年同期比126.2%（対前々年同期比222.8%） ・新型コロナ影響の弱まり、各種施策により増収維持
	営業利益	1,104	△337 1,442	<b>増加</b> 営業利益 ▶対前期増減額1,442百万円（対前々期増減額3,262百万円） ・コスト削減施策を継続して実施し3期ぶり黒字で着地
	経常利益	1,083	114 968	
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,010	57 952	<b>増加</b> 親会社株主に帰属する四半期純利益 ▶対前期増減額952百万円（対前々期増減額1,149百万円） ・第1四半期連結累計期間での四半期利益が過去最高益
セグメント	飲食 売上高	6,765	5,236 1,528	<b>増加</b> 売上高 ▶対前年同期比129.2%（対前々年同期比224.3%）
	アミューズメント 売上高	1,867	1,341 525	<b>増加</b> 売上高 ▶対前年同期比139.2%（対前々年同期比258.1%）
	ホテル・不動産 売上高	646	776 △130	<b>増加</b> 売上高 ▶対前年同期比83.2%（対前々年同期比152.0%）

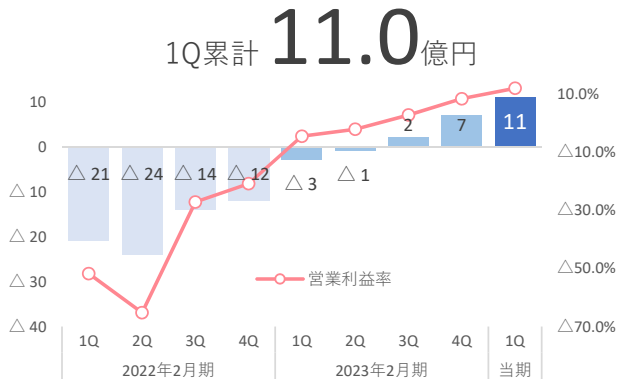
売上高  
【累計】  
対前年同期比  
**126.2**  
%



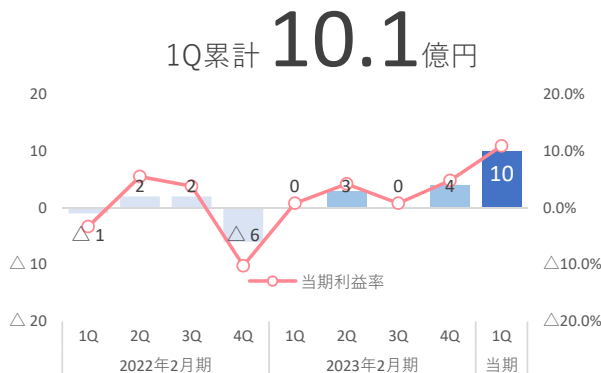
経常利益  
【累計】  
対前期増減額  
**9.6**  
億円



営業利益  
【累計】  
対前期増減額  
**14.4**  
億円



親会社株主に  
帰属する  
四半期(当期)  
純利益  
【累計】  
対前期増減額  
**9.5**  
億円



# 主要係数（四半期推移）

	累計		四半期会計期間				
	2024年2月期1Q	2023年2月期1Q	2023年2月期1Q	2023年2月期2Q	2023年2月期3Q	2023年2月期4Q	2024年2月期1Q
売上原価率	<b>19.8%</b>	23.0%	23.0%	21.1%	21.8%	21.5%	<b>19.8%</b>
販管費率	<b>68.3%</b>	81.6%	81.6%	81.1%	75.5%	70.3%	<b>68.3%</b>
営業利益率	<b>11.9%</b>	△4.6%	△4.6%	△2.2%	2.7%	8.3%	<b>11.9%</b>
のれん償却控除前 営業利益率	<b>12.4%</b>	△4.0%	△4.0%	△1.6%	3.2%	8.8%	<b>12.4%</b>
経常利益率	<b>11.7%</b>	1.6%	1.6%	2.7%	2.5%	8.0%	<b>11.7%</b>
EBITDA	<b>13.0億円</b>	△1.0億円	△1.0億円	0.6億円	4.4億円	9.7億円	<b>13.0億円</b>

ネット  
D/Eレシオ

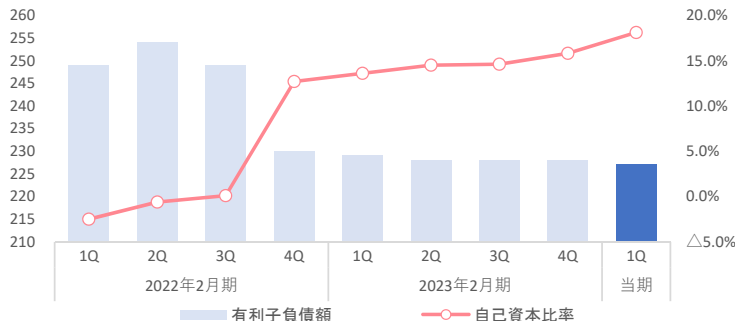
当四半期累計

**1.5倍**

(前会計年度末)

**2.4倍**

<有利子負債額 四半期推移>



(単位: 億円)

## 自己資本

…前会計年度末から910百万円増加し6,474百万円  
自己資本比率：18.1%  
(前会計年度末：15.8%)

## 有利子負債額

…前会計年度末から92百万円減少し22,743百万円  
有利子負債比率：63.5%  
(前会計年度末：64.8%)

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年2月期末	2024年2月期1Q	対前期増減額		2023年2月期末	2024年2月期1Q	対前期増減額
流動資産	15,047	15,914	867	有利子負債	22,836	22,743	△92
現金及び預金	12,039	12,412	373	その他負債	6,075	5,833	△241
その他流動資産	3,008	3,501	493	負債合計	28,911	28,576	△334
固定資産	20,201	19,924	△277	株主資本	5,469	6,367	898
有形固定資産	9,970	9,694	△276	利益剰余金	△2,292	△1,393	898
無形固定資産	2,816	2,774	△42	その他の包括利益累計額	94	106	12
のれん	2,761	2,716	△45	新株予約権	1	1	0
投資その他の資産	7,413	7,455	41	非支配株主持分	772	785	13
繰延資産	0	0	0	純資産合計	6,336	7,261	924
資産合計	35,248	35,838	589	負債・純資産合計	35,248	35,838	589

## 【増減主要要因】

- ▶ 総資産残高：35,838百万円（対前期増減額589百万円）
  - ・現金及び預金：対前期増減額373百万円
  - ・売掛金：対前期増減額158百万円
  - ・未収入金：対前期増減額15百万円

## 【増減主要要因】

- ▶ 負債残高：28,576百万円（対前期増減額△334百万円）
  - ・未払金：対前期増減額110百万円
- ▶ 純資産：7,261百万円（対前期増減額924百万円）
  - ・利益剰余金：対前期増減額898百万円





2024年2月期 第1四半期 出店状況

## 当第1四半期連結累計期間：新規出店1店舗・退店店舗5店舗・業態変更2店舗

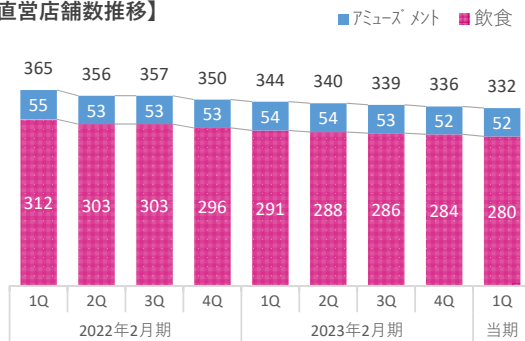
### 【グループ全店舗数（飲食・アミューズメント）】

飲食	280店舗
アミューズメント	52店舗
直営店舗合計	332店舗
ライセンス+運営受託店舗	8店舗
全店舗合計	340店舗

### 【グループ運営ホテル棟数（ホテル・不動産）】

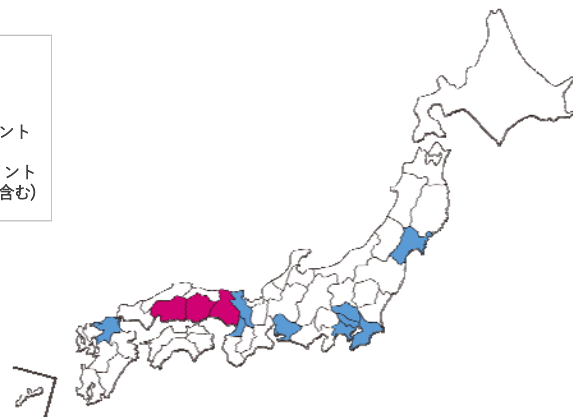
ホテル	6棟
-----	----

### 【直営店舗数推移】



【凡例】

- 飲食店舗のみ
- 飲食店舗及びアミューズメント店舗出店（アミューズメントのみ店舗出店含む）



### 【出店エリア】

東日本		中日本		西日本	
東京都	224店舗	大阪府	26店舗	広島県	20店舗
神奈川県	22店舗	京都府	10店舗	福岡県	6店舗
埼玉県	9店舗	愛知県	8店舗	岡山県	1店舗
宮城県	2店舗	兵庫県	3店舗		
千葉県	1店舗				

A wide-angle photograph of a sunset over a calm ocean. The sun is low on the horizon, creating a bright reflection on the water. The sky is a mix of light blue and orange, with some wispy clouds. The overall mood is serene and dramatic.

# *Dynamic* & *Dramatic*

2024年2月期 第1四半期 セグメント別概況



	セグメント	主なブランド	展開方針
飲食・アミューズメント事業	<b>飲食</b> (284店舗)  売上構成比 <b>72.9%</b>	 	全国主要都市を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。 今期においては従前どおり既存ブランド*のブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。 2023年5月末時点で国内280店舗を展開。 セグメント内には、ウェディング、FC・LC、ベンチャーキャピタルを含む。
	<b>アミューズメント</b> (52店舗)  売上構成比 <b>20.1%</b>		「BAGUS」ブランドにて高級感のあるビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業の運営に加え、2018年よりカプセルホテル事業に参入。 厳選した立地のみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。 2023年5月末時点で国内52店舗を展開。
不動産事業	<b>ホテル・不動産</b> (ホテル6棟)  売上構成比 <b>7.0%</b>		「湘南を世界のSHONANへ」というスローガンのもと、湘南の感度の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力。 神奈川県においてホテル運営事業6棟の他、飲食事業、貸テナ運営、賃貸事業、戸建て不動産販売事業等、複数の事業を展開。 2021年3月に「SLE不動産 藤沢店」、2021年6月に「SLE不動産 大和店」をオープン。

## 新型コロナウイルスの影響が弱まり各セグメント黒字で着地

## 飲食

## 新型コロナウイルスの影響が弱まり、大幅な増収

▶ 外食需要の回復などにより、増収増益

増加	売上高	：	67.6億円	対前年同期比：	129.2%
増加	営業利益	：	7.7億円	対前期増減額：	10.2億円

アミューズ  
メント

## 各種施策が奏功し、営業利益黒字を維持

▶ 新規イベントの開催や既存顧客満足度向上のため公式アプリをリニューアル

増加	売上高	：	18.6億円	対前年同期比：	139.2%
増加	営業利益	：	4.1億円	対前期増減額：	3.9億円

ホテル  
・不動産

## ホテル一棟貸の収益が寄与し営業利益は黒字を維持

▶ 但し、「PARK IN HOTEL ATSUGI」の一棟貸は計画通り第1四半期末に合意解約

増加	売上高	：	6.4億円	対前年同期比：	83.2%
増加	営業利益	：	2.1億円	対前期増減額：	0.0億円



おしゃれにカフェ・ガッツリお食事・お祝い行事 etc

あらゆるお客様のニーズに  
お応えします！



## 多種多様な業態・エリアにて飲食店舗を運営

- ◆私たちは、大切なお客様の、大切な時間を、笑顔と感動でいっぱいになります
- ◆私たちは、変化に臆することなく、新しいライフスタイルに合わせた価値を創造します
- ◆私たちは、常に明るく前向きに、謙虚な気持ちをもって仲間と共に成長します



VAMPIRE CAFE（東京）



わらやき屋（東京）



kawara CAFE（東京）



24/7 coffee & roaster（広島）



chano-ma（東京）

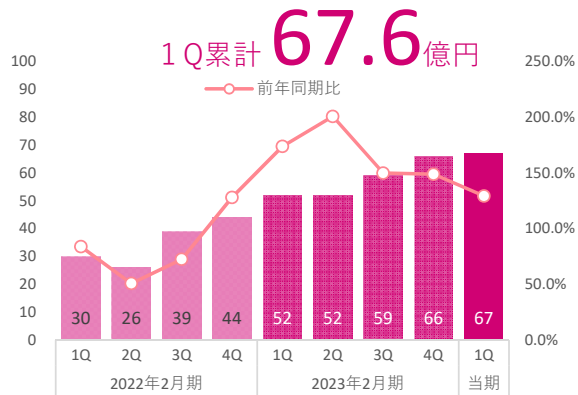


Park South Sandwich（福岡）



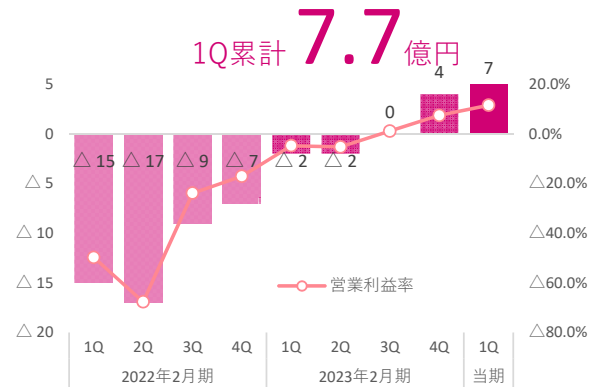
売上高  
対前年同期比

**129.2**  
%

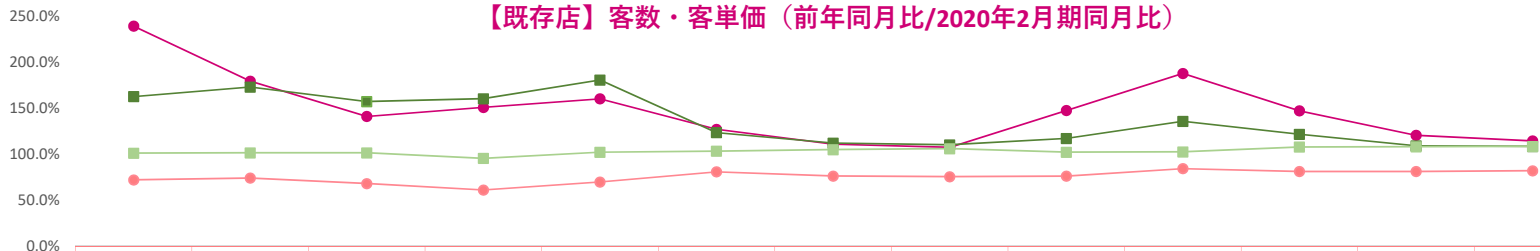


営業利益  
対前期増減額

**10.2**  
億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）



	2022.5月	2022.6月	2022.7月	2022.8月	2022.9月	2022.10月	2022.11月	2022.12月	2023.1月	2023.2月	2023.3月	2023.4月	2023.5月
● 客数前年比	239.1%	179.3%	140.9%	150.8%	160.1%	126.9%	110.8%	107.2%	147.4%	187.7%	147.0%	120.4%	114.3%
○ 客数20.2期比	71.9%	73.9%	67.9%	60.9%	69.6%	80.7%	76.1%	75.4%	76.0%	84.2%	81.0%	81.0%	81.8%
■ 客単価前年比	162.5%	172.9%	157.0%	160.2%	180.5%	123.3%	111.9%	110.0%	117.0%	135.6%	121.5%	109.0%	108.3%
□ 客単価20.2期比	101.0%	101.3%	101.3%	95.3%	102.0%	103.1%	104.8%	105.8%	102.0%	102.4%	107.7%	107.9%	108.3%



プロデュースするのは、  
洗練された大人のエンターテイメント空間

# BAGUS

（インドネシア語で「最高」の意）

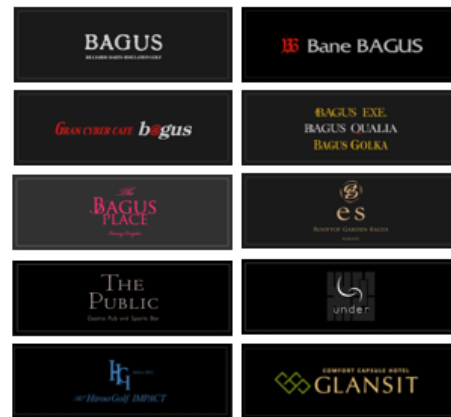
プロデュースするのは、洗練された大人のエンターテインメント空間

私たちは世代を越えて幅広いターゲットに向けて、次々と新しい事業を展開してきました。

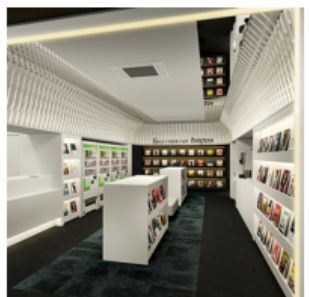
多様でありながら、全ての事業展開に一貫するのは、  
ホスピタリティ精神とクオリティの高いサービスの提供です。

エンターテインメント空間演出のパイオニアとして、  
私たちはお客様に「最高」の感動を追求し続けます。

<ブランド>



BAGUS



GRAN CYBER CAFE bagus



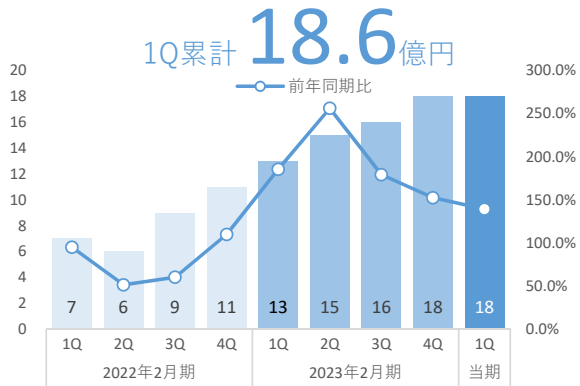
THE PUBLIC



Hiroo Golf IMPACT

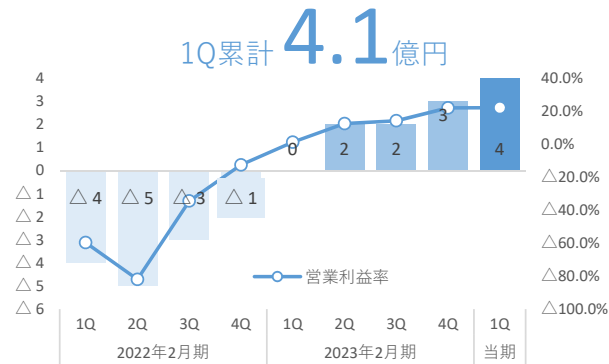
売上高  
対前年同期比

139.2  
%



営業利益  
対前期増減額

3.9  
億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）

250.0%  
200.0%  
150.0%  
100.0%  
50.0%  
0.0%

	2022.5月	2022.6月	2022.7月	2022.8月	2022.9月	2022.10月	2022.11月	2022.12月	2023.1月	2023.2月	2023.3月	2023.4月	2023.5月
● 客数前年比	185.7%	190.9%	166.0%	167.7%	192.6%	161.0%	115.6%	108.7%	136.4%	196.4%	167.7%	120.5%	110.8%
○ 客数20.2期比	66.3%	64.0%	63.5%	56.2%	65.0%	72.9%	69.9%	109.1%	113.2%	136.1%	129.0%	105.2%	103.7%
■ 客単価前年比	147.5%	156.8%	144.7%	142.4%	147.3%	124.1%	104.7%	71.1%	70.9%	70.4%	69.4%	74.6%	75.2%
□ 客単価20.2期比	115.6%	114.4%	117.1%	113.5%	115.0%	110.5%	110.3%	115.2%	112.5%	114.7%	124.6%	116.6%	119.1%



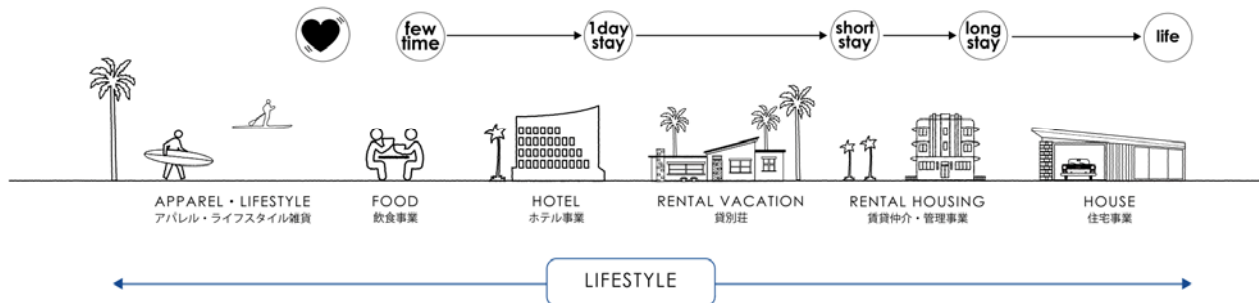
## 湘南を世界の**SHONAN**へ

- 湘南の感度の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力 -

*Think Globally, Act Locally*

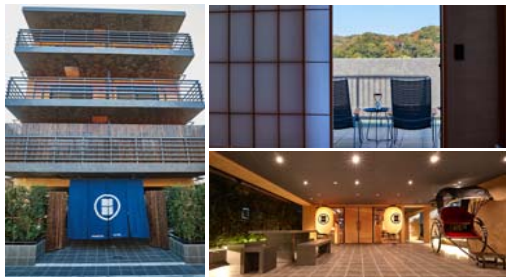


# WHAT WE DO



湘南のビーチカルチャーをベースとした感性が高く心地よい、暮らし全般にまつわる事業=ライフスタイルの提案を展開。

## ホテル事業 <HOTEL>



KAMAKURA HOTEL  
「SAUNACHELIEN 2021」受賞



8 HOTEL FUJISAWA  
(神奈川県藤沢市)



8 HOTEL CHIGASAKI  
(神奈川県茅ヶ崎市)

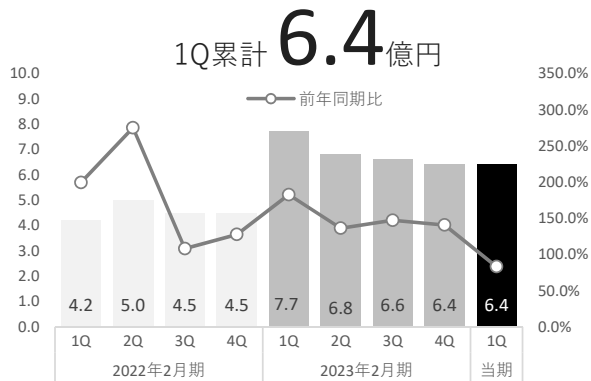
## 貸コンテナ <RENTAL CONTAINER>



ルームマートコンテナ  
湘南エリア最大規模の屋外トランクルーム

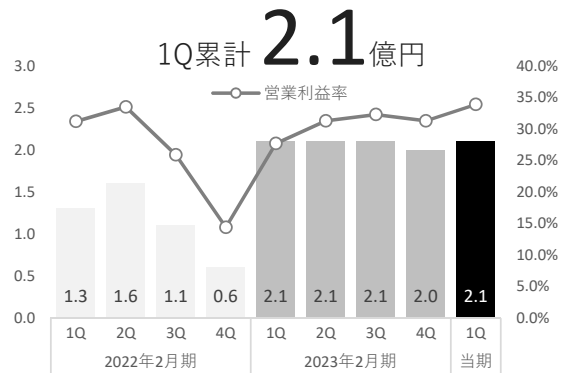
売上高  
対前年同期比

83.2  
%



営業利益  
対前期増減額

0.0  
億円



## 同四半期対比営業利益の増益を維持

売上高:対前年同期比83.2%/営業利益:対前年同期比101.9%

新型コロナウイルス感染症軽症者の受け入れ施設として神奈川県へ一棟貸することで、逼迫する地域医療の負担軽減に努めることを目的に、「PARK IN HOTEL ATSUGI」を2021年2月期より神奈川県へ提供しておりましたが、2023年5月末で当該契約が終了となりました。

これに伴い第一四半期までは、当該ホテルの一括貸による収入や政府による全国旅行支援の継続効果もあり増収増益となった。コンテナ運営においては需要が増加しているバイクコンテナを積極的に増設するなど、各種施策を実施し業績は堅調に推移。



<PARK IN HOTEL ATSUGI（神奈川県厚木市）>

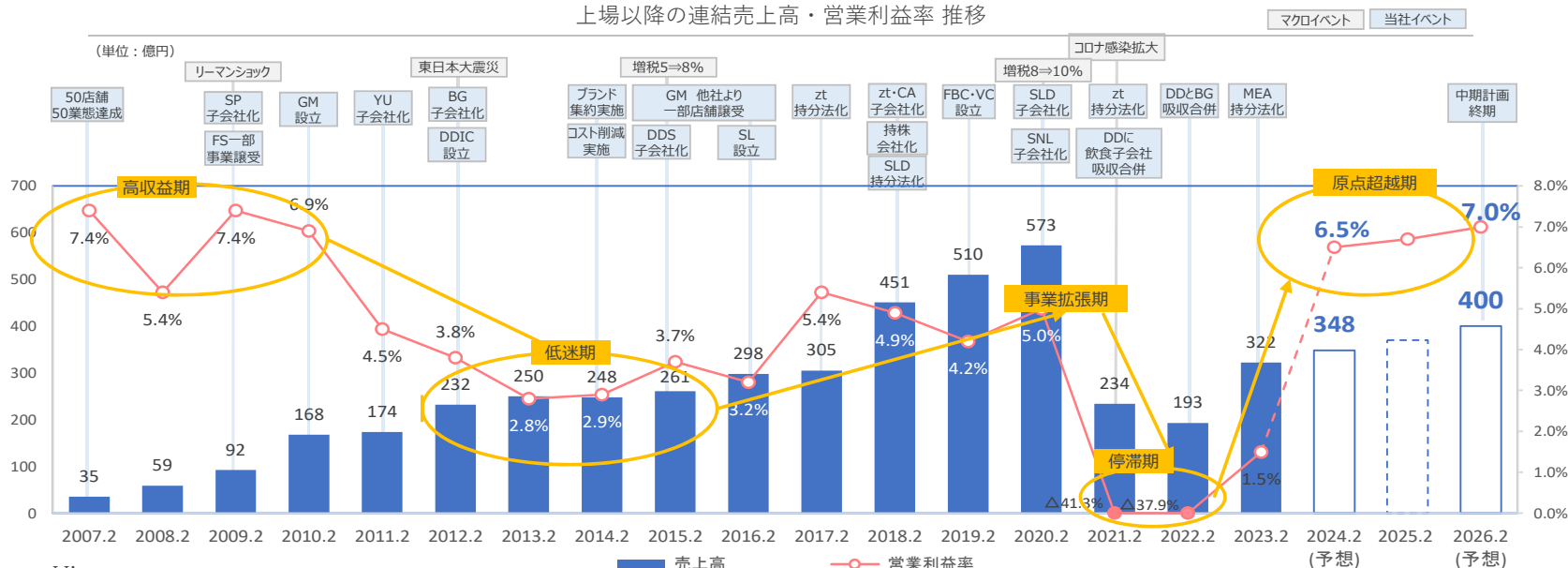


(ご参考)



# (ご参考) 当社グループ業績推移

## 上場以降の連結売上高・営業利益率 推移



### History

- |   |  |
|---|--|
| 2009年2月期 株式会社サンプル (SP) 子会社化<br>株式会社フードスコープ (FS) 一部事業譲受                            | 2018年2月期 株式会社ゼットン (zt)・株式会社商業藝術 (CA) 子会社化                                |
| 2010年2月期 株式会社ゴールデンマジック (GM) 設立  | 2019年2月期 株式会社フードビジネスキャスティング (FBC) 設立<br>株式会社DDホールディングスベンチャーキャピタル (VC) 設立 |
| 2011年2月期 株式会社吉田卯三郎商店 (YU) 子会社化  | 2020年2月期 株式会社エスエルディー (SLD)・株式会社湘南レーベル (SNL)子会社化                          |
| 2012年2月期 株式会社バグース (BG) 子会社化<br>Diamond Dining International Corporation (DDIC) 設立 | 2021年2月期 株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として4社(SP・GM・CA・SP・SL)を吸収合併                  |
| 2015年2月期 Diamond Dining Singapore Pte.Ltd. (DDS) 子会社化                             | 2022年2月期 DDICの全株式を譲渡し海外事業から撤退<br>株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として株式会社バグースを吸収合併    |
| 2016年2月期 株式会社The Sailing (SL) 設立  | 2023年2月期 株式会社MEA (旧：フードビジネスキャスティング) の持分法化                                |

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、  
売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、  
目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、  
当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、  
株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、  
当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

## お問合せ先

グループ経営管理本部 経営企画部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : [ddg\\_ir@dd-grp.com](mailto:ddg_ir@dd-grp.com)



*Dynamic & Dramatic*

大胆かつ劇的に行動する